

税務事務(応用)《固定資産税課税》

～事例演習で実践的に課税事務を理解～

研修目標

固定資産税課税に関する専門知識の修得

固定資産税の課税事務に関する専門知識を、さまざまな事例を通して実践的に修得し、業務を的確に処理する能力の向上を図る。

特徴PR

固定資産税課税事務について体系的に理解

固定資産税は市町村民税とともに市町村の重要な財源となっており、固定資産税事務担当者の的確な理解と適正な運用が求められます。固定資産税課税を体系的に理解するとともに、事例研究とグループ演習を行うことで、より実践的な知識と実務遂行能力を修得します。

詳細

- * 開催日 10月16日(木)/17日(金)
- * 時間 1日目 9:30～17:00
2日目 9:00～16:00
- * 定員 30名
- * 日数 2日
- * 研修場所 第二水産ビル8階
「8A会議室」
- * 対象者 固定資産税課税の実務経験
2年以上又は同等の税務事務
担当職員。但し実務経験1年
未満の職員を除く
- * 研修方法 講義、事例研究、グループ演習

予定研修科目

1 固定資産税の全体像

- (1) 全体像
- (2) 台帳課税主義
- (3) 納税通知書の交付

2 事例演習問題

- (1) 禁反言の法理と固定資産税
- (2) 納税通知書の送達
- (3) 台帳課税主義
- (4) 納税義務の承継
- (5) 共有と連帯納税義務
- (6) 破産と納税の告知
- (7) 賦課処分に対する不服申立て
- (8) 価格に対する不服申立て

(注) 事例研究中心のため、実務知識が必要な研修です

予定講師

野木 義昭 一般社団法人日本経営協会講師 自治体法務研究所 副代表

中央大学法学部卒業。東京都主税局に入庁。練馬、台東、墨田、中央、足立等各都税務所において、不動産取得税、固定資産税、徴収事務を担当する。1996年東京都主税局専門講師(不動産取得税、特別土地保有税)を委嘱される。現在、自治体法務研究所副代表。

予定研修日程

※最終日は時間帯が異なりますのでご注意ください。

1日目	2日目
9:30 開講・オリエンテーション 全体像/台帳課税主義/納税通知書の交付 ～事例演習を中心にして理解を図ります～	9:00 開始 ～事例演習を中心にして理解を図ります～
17:00 終了	16:00～ 事後調査 閉講

※研修の進め方、内容が変更になることもございますのでご了承ください。